

超絶技巧とユーモアあふれるパフォーマンス

ロシア民族音楽アンサンブル

テレム・カルテット

TEREM QUARTET



アレクセイ・バルシヨフ
(アルトドムラ/バラライカ)

ウラジーミル・クドリャフツェフ
(コントラバス)

アンドレイ・スミルノフ
(バヤン)

アンドレイ・コンスタンチーノフ
(ソアラ/ドムラ)

©Danil Rabovsky

クラシックからポピュラー、ロシア民謡まで
民族楽器で奏でる“音の魔術師”テレム・カルテット!

カルテット

ロシアで国民的人気を誇る4人組がやってくる!

〈主な予定曲目〉

一週間、ともじび、カリンカ(ロシア民謡) リベルタンゴ(A.ピアソラ) 恋のパカンス(宮川泰)
黒い瞳(F.ゲルマン) 映画『ミッション:インポッシブル』のテーマ 他



メゾ・ソプラノ
ワレンチナ・パンチェンコ



ナビゲーター
タチアナ・ナウーモヴァ

【公演日程】2019年

11月24日(日) 13:00(12:30開場)
17:00(16:30開場)

沖縄コンベンションセンター劇場棟

入場料金：S席¥5,000 A席¥4,500 [全席指定]〈税込〉

お問い合わせ：沖縄テレビ放送事業部 ☎098(869)4415(9:30~12:00/13:00~17:30)

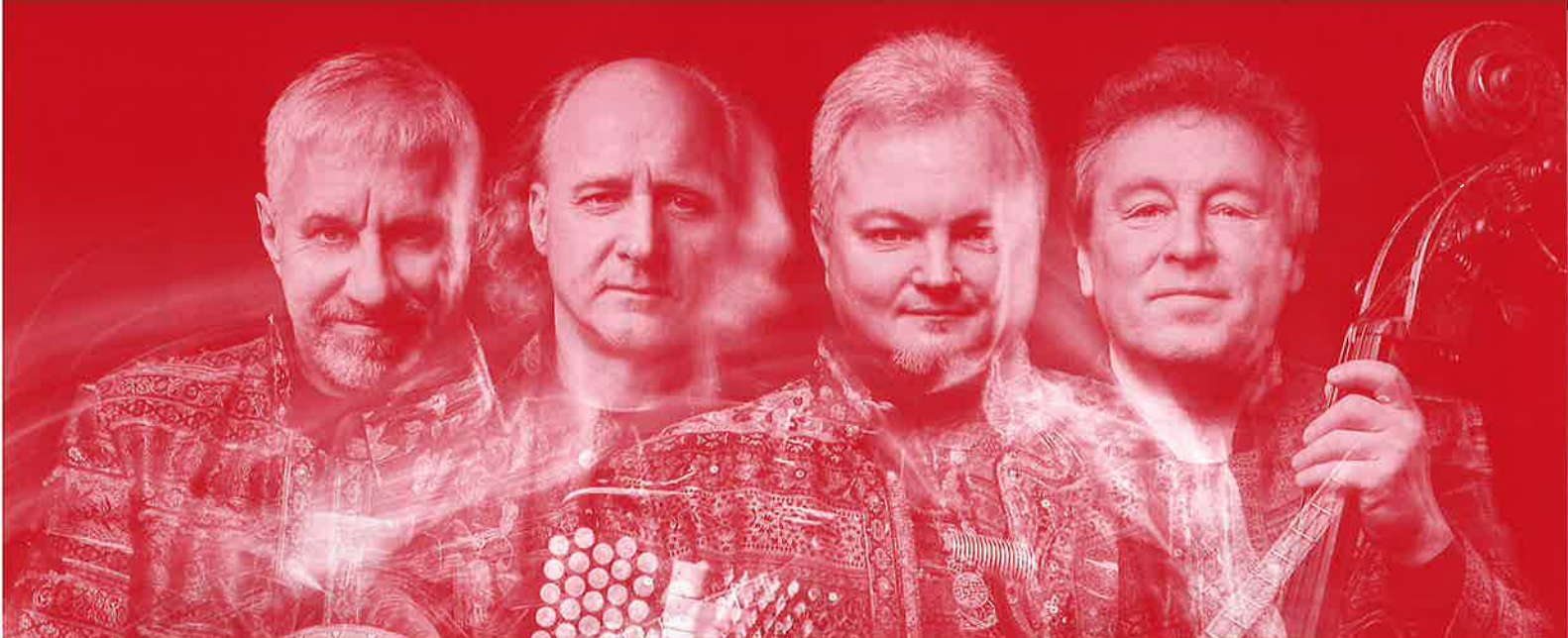
主催：沖縄テレビ放送/MIN-ON

後援：ロシア連邦大使館、
ロシア連邦交流庁(Rossotrudnichestvo)
琉球新報社、ラジオ沖縄、エフエム沖縄

チケットのお求めは：ファミリーマート(イープラス)
ローソンチケット [Lコード:83810]
チケットぴあ [Pコード:158-449]
デパートリウボウ、ユーブあぶれ
セブン-イレブン(セブンチケット)

※未就学児童のご入場は固くお断り致します。
※ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。





テレム・カルテットのコンサートの我を忘れるほどの楽しさは、『スターウォーズ』とベルリン・フィルとディズニーランドが一緒になったようなものです。その3つを同時に楽しむのは不可能でしょうが、テレム・カルテットのコンサートなら、見て楽しく、聴いて楽しく、そして体験して楽しい。3つの楽しみが一度に味わえます。

マンドリンと三味線の間のようなドムラ、世界最大級のアコーディオンであるバヤン、そしてコントラバス。この4人の魔術師はクラシックからロック、ジャズからロシア民謡、ありとあらゆる音楽を料理して、カラフルで変幻自在、香り高くユーモラスで、そしてちょっぴり哀しいテレム・ミュージックを聞かせてくれます。演奏する姿を見れば、お茶目な天才たちの運動会。そしてその2時間の

体験はディズニーランドの1日に匹敵します。ここにはダンスもドラマも要りません。音楽だけのコンサートでこんな体験ができてしまいます。

そしてここにはロシアがあります。遠くて、でも近いロシア。日本語のヒット曲がそのままヒットし、唄いつがれるロシア。ピロシキもボルシチもストロガノフもみんな美味しい。ウオッカは美味しいけれど、飲み過ぎにご注意。

テレム・カルテットの音楽もやはり美味しい。そしていくら食べても飲んででも過ぎることはありません。

前回、すばらしい歌を聞かせてくれたワレンチナさんが今回もゲスト。映画もテレビも遊園地も後にまわして、いざ行かん。

おおしま ゆたか(音楽評論)

Profile

Terem Quartet テレム・カルテット



1986年11月26日に結成されたロシア民族音楽アンサンブル。

クラシックからポピュラーまで、変幻自在に母国の伝統音楽と融合させ、超絶技巧を駆使した圧巻のステージを創り上げている。レパートリーには、500を超える伝統音楽と現代音楽がある。ジャズ・バンド、オーケストラ等との競演や、世界最大のワールド・ミュージック・フェスティバル「WOMAD」(ウォーマッド)、日本で開催される「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」等への参加など、ジャンルを超えた取り組みは、今日に至るまでとどまることを知らない。さらに、彼らが主催となり、世界にも類がない民族音楽コンクール「TEREM Crossover International Music Competition」をはじめ、子どものための民謡コンクール等、民族音楽の普及および慈善活動にも力を入れており、政府含め、数多くの団体から称号および賞を受賞している。



ワレンチナ・パンチェンコ (メゾ・ソプラノ)

ロシア国立ウラジオストク音楽大学卒業と同時に国立プリモールスキー・フィルハーモニー専属ソリスト(メゾ・ソプラノ)として活動。『フィガロの結婚』ケルビーノ役でデビュー。『エフゲニ・オネーギン』でオリガ役、『蝶々夫人』でスズキ役など出演多数。2000年G8沖縄サミット文化プログラムに出演。2016年『マタイ受難曲』日本初演のアルト・ソリスト。日口文化交流センター名誉会員。

タチアナ・ナウーモヴァ (ナビゲーター)



モスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学卒業。在学中、学生交流プログラムにより創価大学に留学。日露両国にてアーティストのツアー手配、司会や通訳などを行っている。